

い は ふ ゆ う
 沖縄学の父・伊波普猷の墓



伊波普猷(1876～1947)は歴史学、民俗学や言語学などによる沖縄の総合研究である沖縄学の父といわれています。
 伊波の論文「浦添考」とその後の東恩納寛惇による研究により、浦添グスクが首里以前の琉球国中山の王城であったと考えられるようになりました。



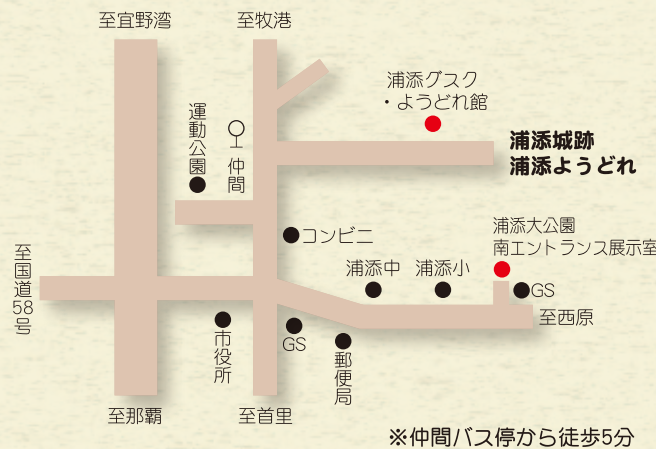
浦添城跡の歴史をパネルや出土品で紹介します。
【開館時間】 午前9時～午後5時
【入館料】 大人(高校生以上) 100円
 小人(小・中学生) 50円
 ※市内小中学生は無料
【休館日】 月曜日・12月28日～1月3日
 ※月曜が祝日の際は開館
【電話】 098-874-9345



浦添城跡や市内文化財を模型や航空写真などで紹介します。
【開館時間】 午前9時～午後5時
【入館料】 無料
【休館日】 月曜日・12月28日～1月3日
 ※月曜が祝日の際は開館

浦添グスクの歴史

日本	王統	できごと
鎌倉時代	英祖王統	13世紀 野面積みのグスクがつくられる 英祖王が浦添ようどれと極楽寺を造営したと伝わる
室町時代	察度王統	14世紀末～15世紀前半 城域が広がり、大規模なグスクとなる 高麗系瓦葺きの建物が建てられる。察度王統の王宮と考えられる 1406 尚巴志に滅ぼされ、王宮が首里に移り、浦添グスクは荒廃する
	第一尚氏	
	第二尚氏	尚維衡、浦添グスクに居住(浦添家) 1589 浦添家四代目の尚寧が国王となる 1597 浦添グスクから首里までの道を整備し、浦添城の前の碑を建てる 1609 島津氏の侵攻で浦添グスクが焼き討ちされる 1620 尚寧王、浦添ようどれを改修
安土桃山時代		
江戸時代		
明治～平成		1945 沖縄戦で激戦地となる 2005 浦添ようどれ復元整備完了 現在、浦添グスク復元整備を実施中



国指定史跡

う ら そ え じ ょ う あ と
 浦添城跡



浦添市教育委員会文化課
 ☎098-876-1234(内線6213・6214)